



チャレンジ家庭菜園

No. 47

冬の新たまねぎ

平成20年 7月14日
神奈川県農業共済組合

たまねぎは家庭料理で1年中家庭料理に使われていますが、最近 珍しい冬獲りのたまねぎの栽培法（オニオンセット栽培）を紹介します。

今までの栽培法では9月にタネをまき、苗を育てるか、または11月に苗を種苗店や園芸店等で購入して植え付けて、冬を越して春に収穫します。今回紹介する方法は3月上旬にタネをまき、5月中旬ごろに収穫した径が2～2.5cmの子球（セット球といい、種苗会社で販売している）を8月下旬に定植して11月中旬から収穫ができます。育苗の煩わしさがなく、栽培期間が短くなり、畑の回転を速くしたい家庭菜園に適した栽培法です。

このタマネギは辛味が少ないので、サラダやスライス、オニオンリングに適し、葉は柔らかく栄養に富み、青ネギと同じような使い方もでき、重宝なタマネギです。

1. 子球の購入

定植用の子球（セット球）は種苗会社から販売しています。

2. 土づくり

畑は定植する2週間前から1㎡当たり完熟堆肥3kg、石灰150g、複合磷加安555号（N:P:K=15:15:15）100gを散布し、よく耕しておきます。畝幅は60cmぐらいで2条植え、株間は10cmぐらいとし排水の不良な畑はやや高い畝を作るのが良いでしょう。

3. 定植

8月下旬を目標に遅れないように定植します。定植が遅れると充分太らないこともあるので注意しましょう。植え方は浅い溝を作り、その溝に子球の発根部を下にして、首がわずかに出る程度に押し込みます。

4. 栽培管理

定植直後から成育をするので、乾燥の影響を受けやすいので敷わら等でマルチを行います。草に負けやすいのでこまめに除草を行います。追肥は9月下旬と10月下旬に化成肥料（N;K=16:16）を1㎡当たり30gを施します。

1個の子球が2個になること（分球）が時々あります。そのまま放置すると小球が多くできます。小球を多く獲るのも楽しみですが、大球を収穫するのであれば定植後40日ぐらいで小球を取り除きます。その時は残す球の根や葉を傷めないように注意して下さい。

5. 収穫

11月中旬頃になると、1球の重さが200gぐらいの太ったタマネギが獲れます。同時に収穫した葉も捨てずに使うと良いでしょう。球を長く保存する場合は6～7個を束ねて風通しの良い軒下に吊るしておけば3月ころまで貯蔵できます。

（参考文献：ザ・健康野菜）